

# SMART CLOCK



「お仕事場で、電気の使用状況をお知らせする時計」

よりシンプルに、省エネ行動のタイミングを見逃さない。

電気の使用状況をリアルタイムにモニタリング。

設定した電力の使用上限値に対し、

LEDの色が変化して電気の使用状況をお知らせします。

情報共有で省エネの輪を広げ、毎月の電気の使いすぎを抑えましょう。

緑色は通常通り

LEDの本数が  
分針を超えないように  
こちら掛けましょう。



黄色は注意信号

LEDが赤へと  
変化する前に  
省エネ活動を実施！



赤色は使い過ぎ！

省エネ活動に  
優先順位を決めて  
取り組みましょう！



分針がある側が、現在値(累積値)を表示  
分針が目安です

現在

単価

水色

10円未満

音声案内 + 有機ELに  
メッセージ表示でお知らせ

電力取引単価が安い時間帯  
です。この時間帯に電気を  
使うことをおすすめします。

POINT 生産性をUPする  
タイミングです！

橙色

10円以上

それぞれの 1分目と 31分目には LED点灯

水色 10円未満と赤色 30円以上は  
音声メッセージで市場単価をお知らせ

赤色

30円以上

音声案内 + 有機ELに  
メッセージ表示でお知らせ

電力取引単価が高い時間帯  
です。この時間帯は電気の  
使用を控えましょう。

POINT 機器稼働状況を見直して  
使用電力量のカット！

現在・単価モード

現在の使用電力量とJEPXが公表した 30分ごとの市場単価(約定価格・エリアプライス)をリアルタイムで表示します。

- 分針が12時から6時までの位置にあるとき【右側：使用電力量 / 左側：市場単価】
- 分針が6時から12時までの位置にあるとき【右側：市場単価 / 左側：使用電力量】

ESシステムで計測した数値を基に演算したもので、あくまでも目安の為、実際の電気料金とは異なる場合があります。

「家庭向け」と「企業向け」で異なる電気料金

わたしたちが家庭で使用する電気は、契約電力以上の量を使うと、安全のためにブレーカーが落ちて、電気が遮断される仕組みになっています。一方で、工場や店舗などのように多くの電気を使う場所では、使用する電力を30分ごとに計測。ブレーカーが落ちることのないよう月間の最大値に合わせて契約電力が変動します。つまり、短時間にまとまった量を使うと、年間の契約電力も高くなり電気料金に大きく影響します。一人ひとりが時間帯や作業内容などに合わせた「上手な電気の使い方」を意識することが、省エネへとつながります。



日本テクノ株式会社

カスタマーサービスセンター

0120-107-428 受付 9:30 ~ 17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

このポスターは〔現在デマンド・単価モード〕を紹介しています。

SMARTMETER ERIA (モニター) で選択されているモードによって  
LEDの表示や色の変化は異なります。

2025.4